

# 世界各地の人々の生活と環境： 乾燥した地域の暮らし

群馬大学教育学部附属中学校 島 武臣

## 「世界のさまざまな地域」単元について

現在世界には190か国以上の国々があり、人々は異なった気候や地形に適応しながらさまざまな暮らしを営んでいる。また、宗教や歴史的な背景により多様な文化や価値観が存在している。平成24年度用『社会科 中学生の地理』（以下、教科書）の本題材において、世界の諸地域の多様性にかかわる基礎的・基本的な知識を身につけ、世界全体の地理的認識を養うことは、著しくグローバル化が進展する今日にあって、自他の文化を尊重し、国際社会の一員として世界の平和と進展に寄与するためにも重要なことである。

本単元は、世界各地の人々の生活のようすを、気候や地形といった自然的条件と宗教や歴史的背景といった社会的条件を関連づけて考察させることを通して、世界各地の人々の生活や環境の多様性を理解させるものである。また、世界各地のようすについて景観写真や資料を読み取りながら興味や関心をもつとともに、読み取った情報をもとに課題を解決していくことで学習意欲を高めていくことができる。

教科書第1部2章2～5節のおもな学習内容は、①世界の人々の生活、②世界の人々の生活の変容、の二つにわけることができる。

①では、世界の人々の衣食住は、気候や地

形などの自然的条件に応じて異なり、それらに適応しながら生活していることを理解する。例えば、暑い地域の事例として赤道付近の島国であるツバルを取り上げ、一年中高温多雨な気候では熱帯林が育ち、その葉や実を利用して生活を営んでいることなど、自然的条件と人々の生活のようすを関連づけて考察する。また、世界各地の人々のようすをとらえるために、写真資料の読み取る際にどこに注目すればよいのかといったポイントを習得することができる。

②では、世界の人々の生活は、他文化との接触や新技術の導入、経済活動の活発化などの社会的条件によって変容することを理解する。例えば、乾燥した地域の事例としてアラビア半島を取り上げ、人々の生活の変化を、水をめぐる変化に焦点を当てて考察し、さらに、文書資料から必要な情報を取捨選択する力などの資料活用能力を身につけることができる。

また、7節では、世界各地の人々の生活のようすを、衣食住を中心に取り上げ、それを位置や空間的な広がりでもとらえる地理的な見方を養うことができる。続く8節では、仏教、キリスト教、イスラム教などの宗教が人々の衣食住や生活習慣、行事や祭り、さらには人間の生き方や考え方にも大きな影響を与えていることなど、世界の人々の生活や文化は宗教と深く関わっていることを理解する。

このように、この単元では世界の人々の生活や環境が多様である要因を、自然および社会的条件と関連づけることで、広い視野に立って地理的事象を総合的にとらえる地理的な考え方を身につけることができる。その点で、世界地誌学習の導入として重要な単元である。

## 2 生徒の実態 (男子20名 女子20名 計40名)

世界各地の人々の生活や環境を追究する学習に関心が高い生徒は私のクラスのうち、36名である。これは、「日本のことしか知らないで、さまざまな国の文化や考え方を知りたいから」「海外旅行に行った時に役に立つから」など、中学生になり本格的に世界の地理を学ぶことは初めてであるため、知らないことを知ろうとする意欲が高いものと考えられる。一方、関心の低い生徒は、「世界は広いので覚えることがたくさんありそうだから」「暗記が苦手だから」など、世界の地理学習は暗記することだと感じているようだ。地理的事象を成り立たせている諸条件を追究し、明らかにするといった地理学習の楽しさや喜びを見いだしていないためではないだろうか。

世界の人々の生活のようすが違う理由について考えさせたところ、気候や地形などの自然的条件が違うということは40名全員が挙げられたが、宗教や歴史的背景などの社会的条件を挙げられた生徒はいなかった。これは、地理的事象の多面性に気づかず、地理的事象を一面的にしかとらえられていなかったり、地理的事象は複数の要因が関連し合って成立していることに着目できていなかったりするためだと考えられる。

また、シンガポール、カイロ、モスクワの雨温図を比較させたところ、すべての生徒が

暑い地域、乾燥地域、寒い地域に分けることができた。生徒は、気温と降水量の両方を見て気候の特徴を読み取ることができると考えられる。しかし、乾燥地域の景観写真を見せ、暑い地域、寒い地域、乾燥地域のどの写真かを答えさせたところ暑い地域と答えた生徒が17名いた。これは、今まで世界の乾燥する地域に関して資料を見てきた経験が少ないいうえに、写真を読み取る際に着目する点がわからないためだと考えられる。

さらに、世界のおもな国の名前と位置を50問答えさせたところ、30問以上答えられた生徒は5名と正解率が低く、とくにアフリカや東南アジアの国の正解率が低かった。「聞いたことはあるが、位置がわからない」という生徒が多く見られた。生徒の正解率が高かった国については、小学校で学習していたり、テレビのニュースなどでよく取り上げられたりする国であるとともに、文化や環境に特徴がある国々が多かった。しかし、ニュースで頻繁に出てくる国の位置でも正解率が低かったことは、生徒が日常、地図を使って場所を確かめる経験が少ないためだろう。

## 3 目標と評価規準

### ○目標

世界各地の人々の生活のようすを自然および社会的条件と関連づけながら考察することを通して、世界の人々の生活と環境の多様性を理解する。

### ○評価規準

【関】世界各地の人々の生活のようすに関心をもち、自然および社会的条件と関連づけながらその要因について意欲的に追究しようとしている。

【思】世界各地の人々の生活のようすを自然および社会的条件と関連づけながら、多面的・多角的に考察している。また、それを発表したり書いたりすることで表現している。

【技】世界各地の人々の生活のようすに関する写真や文書資料、主題図などから、課題解決のために有用な情報を適切に引き出し、世

界各地の人々の生活と環境の多様性について読み取ったりレポートや図表などにまとめている。

【知】世界各地の人々の生活のようすについて、自然および社会的条件と関連づけて世界の人々の生活と環境の多様性を理解し、その知識を身につけている。

## 4 本時の学習指導

(1) 目標 アラビア半島に住む人々の生活とその変化を理解する。また、既習である暑い地域、寒い地域のくらしとの比較を通し、乾燥した地域のくらしの特徴を自分の言葉で表現する。

(2) 展開

ねらい (時間)	生徒の活動	支援および留意点・評価
1 アラビア半島の自然環境をとらえ、本時の課題をつかませる。(10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乾燥した地域が世界のどこに分布しているのかを確認する(教科書p.27⑤)。</li> <li>○アラビア半島の地形と気候を調べて発表する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・砂漠が広がっている</li> <li>・降水量が少ない</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乾燥地域の特徴をつかんだり、学習への関心を高めたりできるよう景観写真と雨温図を提示する。</li> <li>○前時までに学習した写真と雨温図の読み取りのポイントを確認し、乾燥した地域の特徴を捉えやすくする。</li> </ul>
課題：アラビア半島の人々はどのような生活をしているのだろうか		
2 アラビア半島の人々が気候や地形に適応した生活を営んでいることを考えさせる。(15分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書p.26の写真資料から読み取れる人々の生活のようすを発表する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>衣：人々は長袖、長ズボンで、頭に巻物をしている。</li> <li>食：羊やらくだの肉、野菜を食べている。</li> <li>住：れんがづくりの白い家に住んでいる。</li> </ul> </li> <li>○読み取ったことに対して、そこにはどのような要因が影響しているのかを予想し、発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乾燥地域の特徴を端的に表している写真や文書を提示することで、自然的条件を捉えやすくする。</li> <li>○生徒が読み取ったことを衣食住の視点ごとに教師が板書することで、事実を整理しやすくする。</li> <li>○本時ではツバルやシベリアの学習をもとに仮説を各自で研究させるようにする。</li> <li>○仮説は、「～だから～ではないか」という形を用いる。</li> <li>○仮説を立てられるように資料集のほかにもアラビア半島での生活についての資料を教師が複</li> </ul>

		<p>数用意しておく。 ○根拠には事実を用いることを伝える。</p>
<p>&lt;仮説の例&gt; 衣：長袖なのは、強い日射しや乾燥から身を守るためではないか。 食：遊牧を行っているから羊やらくだの肉を食べるのではないか。 住：強い日射しを防ぐために、れんがづくりの家になっているのではないか。</p>		
<p>3 人々の生活の変化を、水をとりにくく変化から考えさせる。(20分)</p>	<p>○人々のくらしにとって「オアシス」がどのような役割をもつものなのかを考え、まとめる。 ○地図帳p.37「③砂漠のくらし」で、オアシス都市のしくみを理解する。 ○上でまとめた衣食住のようすから遊牧生活の特徴を考え、まとめる。 ○水をめぐる生活の変容をとらえる。 ・サウジアラビアでは原油の輸出で得た利益を利用した国土開発がさかんである ・最新技術を使って水を調達するようになってきている ・水が容易に手に入るようになったことにより、農業がさかんになってきている ○上で挙げた変化の特徴を自分の言葉でまとめ、発表する。 ○教科書p.29の文章資料から地域の情報を読み取り、発表する。</p>	<p>○教科書本文や資料集からオアシスを中心としたくらしであることを読み取らせる。用意した写真資料から実際のイメージを喚起させる。 ○ここまでの活動を通して、乾燥した地域の全体像をイメージし、自分の言葉で表現させる。 ○サウジアラビアでは原油の輸出がさかんであることを、最近のニュースと絡めながら紹介する。 ○水をめぐる変化によって、乾燥した地域に特有の遊牧という生活形態が変容していることを理解させる。 ○生徒が挙げた変化の特徴を自分の言葉でまとめさせ、発表させる。 <b>【思】</b> サウジアラビアの人々の生活のようすや変容を、自然および社会的条件と関連づけて考察している。またそれを自分の言葉で表現している。 ○読み取るポイントを提示し、生徒の多面的な視点を養う。</p>
<p>4 次時の活動を知る。(5分)</p>	<p>○次の時間は、高地のくらしを学習することを確認する。さらに、暑い地域、寒い地域、本時で学習した乾燥した地域をふくめた4地域のくらしの特徴をまとめ、班ごとに発表するための準備を始めることを確認する。</p>	<p>○高地のくらしとしてアンデス山脈の写真を見せる。</p>